

## 令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行 事 名 称	法華山一乗寺防火訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 25 日(日)9:00~10:00
実 施 場 所	法華山一乗寺境内 国宝三重塔(兵庫県加西市坂本町 821-17)
主 催 者	法華山一乗寺 加西消防署 加西市消防団

## ■実施内容

## 訓練の想定

法華山一乗寺国宝三重塔から出火、山林へ延焼中と想定。一乗寺関係者が火点東側に設けられた放水設備で初期消火、通報を受けて到着した消防署は火点南側防火水槽より南側参道を通るルートで延長し放水。消防団は消防署と同じルートのほか、火点東側の放生池より複数の中継地点を経由して東側参道及び北側参道を通るルートで延長して放水。

## 訓練の内容

一乗寺管理人が自動火災報知設備によって火事を覚知、通報、初期消火(屋内消火栓型放水設備)、重要文化財の搬出及び避難誘導。通報を受けて出動した消防署、消防団による放水訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

一乗寺関係者	(13名) : 119番通報、初期消火、重要文化財の搬出。
加西市消防団	(50名) : 放水訓練、幹部による訓示
加西消防署	(7名) : 全体統括、放水訓練、講評
加西市教育委員会	(2名) : 現場立会い、教育長挨拶
加西市防災課	(1名) : 現場立会い

## 特に工夫した点

一乗寺が山林寺院であり、傾斜地であるという地形上の特性から、位置、高度の異なる複数方向から延長し放水を行った。

## 問題点・課題

一乗寺は集落から離れた山林内に所在しており、大規模な山火事へつつなげる恐れがある。また今回出火元と想定した三重塔は山の傾斜地に造られた平坦地に建っており、水利である防火水槽や池からは距離が離れており高低差も大きい。今回の訓練においても複数の中継箇所を設け、水利より最大 300m 延長して放水を行った。迅速な対応には各関係機関の密な連携と高度な操法技術が必要となる。また訓練当日は雪が降っていたが、ふもとの集落から一乗寺に到る道はカーブの多い山道であり、定期的に道路状況の整備を行うなど、常に消防署及び消防団が駆け付けられる状況を維持することが必要である。

## その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防署、文化財関係者、地元消防団及び市関係機関合同による防火訓練を行うことで、各関係機関の初動体制の確立及び市民の文化財愛護思想の高揚を図る機会となっている。

## 訓練風景

別添の通り。



①寺院関係者による初期消火



②三重塔東側からの延長



③水利からの延長状況



④一斉放水



⑤一斉放水



⑥分団長への活動報告



⑦消防署長講評



⑧消防団長訓示